

令和3年度 事業報告

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

公益社団法人東松山法人会第10回定時総会にあたり、4月27日に開催した理事会において承認を受けました収支決算報告に付随する令和3年度事業について次の通りご報告致します。

1. 事業概況

本会は、法人会の理念である税のオピニオンリーダーとして「企業の発展」、「地域の振興」をテーマとして地域に開かれた活動を実施してきました。

本会運営の基盤である会員増強運動や福利厚生制度の普及促進は残念ながら苦戦を強いられております。しかしながら会員の立場に立った運営と地域に開かれた研修事業や税に関する事業、そして租税教育やペットボトルキャップ推進運動等の社会貢献活動を推進し、役員を始め会員の皆様のご尽力と税務当局のご指導、税理士会並びに金融機関、提携生損保他関係団体の皆様からご支援・ご協力をいただき、コロナ禍により実施できない事業もありましたが、社会環境を見ながら事業を実施してまいりました。

今後も「国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体」として、企業の発展と地域振興に貢献すべく魅力ある事業活動を展開してまいりますので、皆様方より一層のご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

2. 総務関係

- (1) 令和3年度の事業計画に基づき活動し、公益事業比率 69.1%（基準 51%以上）をクリアいたしました。

コロナ禍による一部事業の中止等もありましたが収支相償も確保しました。

○共通経費配賦基準（事業回数割合）

総事業回数	公1事業	公2事業	共益事業	法人会計
113回	53.5回	24.6回	6.6回	25回
100%	47.3%	21.8%	5.9%	22.1%

- (2) 会費の収納状況について

令和3年度の会費収納は会員の皆様のご理解・ご協力により口座振替と振込用紙により納入をお願い致しましたが、退会が多く収入は期初予算を下回りました。

会費未納者に対しては督促する文書を送付し納入を促すとともに支部・本会事務局による訪問集金を行い、納入依頼活動を行いました。

会費の口座振替を推進し、令和3年8月末の口座振替率は88.9%（前年度比0.6%低下）となっております。

- (3) e-Taxの利用促進について

税務当局や関東信越税理士会東松山支部のご協力をいただき推進を図りましたが役員交代の影響もあり令和4年3月末の利用率は、94.1%（R3.3末比2.5%減）と低下しました。

3. 組織関係

本年度も「役員1人1社獲得運動」を展開し各支部役員を始め税理士会・金融機関・受託保険会社のご協力をいただき会員増強を推進した結果43社、新規加入いただきました。

しかしながら経済状況を反映し会員企業の休廃業等による退会が50社あり、令和4年3月末会員数は1,214社、前年同期比7社の減少となりました。

取扱金融機関の支店増加や一部役員による紹介が増加し明るい兆しも出てきております。

(1) 会員数等

署管内所管法人数 3,497社

法人会加入法人数 1,214社

加入率 34.7%

(2) 支部別会員状況

支部名	法人数	期首会員数	期末会員数	増減	加入率%
東松山支部	1,450	517	515	△2	35.5
小川支部	416	210	203	△7	48.8
比企中部支部	462	160	159	△1	34.4
比企西部支部	452	146	144	△2	31.8
吉見支部	317	102	107	+5	33.7
川島支部	400	86	86	±0	21.5
合計	3,497	1,221	1,214	△7	34.7

4. 研修関係

(1) 不特定多数の利益増進につながる研修事業を実施すべく計画していましたがコロナ禍により、一部の研修会が実施できない状況もありました。

時代に沿うようWEB研修を令和4年2月に導入しました。

アクセス数実績 2月:177件 3月:280件

項目	本会合計		支部合計		部会合計		総合計	
	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数
税法・税務・会計	7	45	7	27	0	0	14	72
経営・経済・金融	2	15	3	161	0	0	5	176
その他	0	0	1	41	0	0	1	41
合計	9	60	11	229	0	0	20	289

【研修参加率】

	研修参加人員	令和4年3月末 会員数	参加率
研修参加率	323名	1,214社	26.6%
税法・税務研修参加率	89名	1,214社	7.3%

5. 税制関係

(1) 税制委員会において課題を協議すると共に全会員に税制改正アンケートを実施し、その結果を踏まえて全法連の「令和4年度税制改正要望」を行いました。

アンケート方式の変更により一般の回答数は大幅減となりました。

アンケート回収結果

発送件数	会員回答数	役員回答数	合計	回答率	回答率前年比
1,231	32	60	92	7.5%	△9.0%

(2) 『税制改正要望活動』を地元選出国會議員と地方自治体（東松山）に持参し要望しました。

(3) 上部団体の全法連では、全国の各法人会の意見を集約し、本年度も関係省庁や国會議員への『税制改正要望活動』を展開しました。

6. 広報関係

(1) 広報誌の発行

広報誌「ほうじん東松山」を122号～124号を発行。会員のみならず広く一般へ向けての記事を掲載し公共施設等に配布を依頼しました。

配布期	内容	部数	摘要
年4回	全法連発行「ほうじん」	毎回 1,300部	全会員・関係機関
年4回	ほうじん埼玉	毎回 65部	役員・委員
年3回	ほうじん東松山	毎回 1,300部	全会員・関係機関
随時	各種関係資料	必要量	会員・新設法人他

(2) ホームページ

不特定多数の人に事業に参加いただけるよう開催事業のご案内や開催結果の報告等最新の内容を掲載しております。会員支援、地域のPRを目的としてHPを大幅に見直し、法人会の理念である「地域の振興」に資するよう取り組みました。

7. 厚生関係

(1) 生活習慣病健診

毎年実施している（一財）全日本労働福祉協会による「生活習慣病健診」は、令和3年度は46名（▲20名）の受診者となりコロナ禍の影響により大幅に減少しました。

(2) 福利厚生制度

体制強化を図り取り組みましたが大幅な改善には至りませんでした。

一層の改善を図るため継続して努力してまいります。

令和3年度 福利厚生事業の推進実績

	大型保障制度			ビジネスガード	
	大同生命			AIG	
	新契約額	新規企業	役員加入率	新規企業	加入企業
目標	140,000	10社	52社	12社	182社
実績	95,300	2社	34社	14社	150社
達成率	68.1%	20.0%	65.4%	116.6%	82.4%

8. 地域社会貢献活動関係

(1) 福祉施設慰問

女性部会による「福祉施設慰問」は、コロナ禍により開催見合わせとなりました。
平穏な日々が早期に訪れることを祈念しております。

(2) 青年部会・女性部会・本会共催による租税教室

日本スリーデーマーチは今年度、大会自体は開催されましたが式典等は開催されず、
租税教室も実施できませんでした。

(3) 第6回「税に関する絵はがきコンクール」

女性部会・青年部会が中心となり小学生に“税の大切さ”や“税の役割”について学んでもらい、その知識や感想を絵はがきにすることにより税に対する理解を深めてもらうことを目的として開催しています。昨年度は中止となりましたが今年度は接触を回避し、郵送を活用し実施しました。

本会の代表が県連のコンクールにおいて第2位となりました。

(4) 租税教室

14校で実施しました。これまで法人会の担当としては実施していなかった野本小(東松山市)、志賀小(嵐山町)でも開催しました。

法人会の事業として相応しいものであり、拡大を図ってまいります。

併せて活動が認知されていない状況があり、役員に見学する機会を提供し、理解を深めていきたいと考えております。

(5) 地域イベントへ参加

各支部においても地域イベントが実施できない状況がありました。

(6) ペットボトルキャップ推進運動

女性部会が中心となりペットボトルのキャップを回収して、リサイクルすることで地球環境を守り、売却代金でポリオワクチンを世界の子供たちに送る「ペットボトルキャップ推進運動」を行い、353,761個(822.7kg)を回収し寄付しました。

(7) 緑のトラスト募金

毎年実施している緑のトラスト運動の募金活動は今年度も実施できませんでした。